

2016年3月期 第2四半期決算 決算説明資料

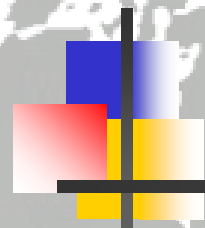
株式会社 京写

証券コード: 6837

2015年11月27日

- I. 会社概要
- II. 2016年3月期 第2四半期 決算概要
- III. 2016年3月期 業績予想
- IV. 中期経営計画について





I. 会社概要

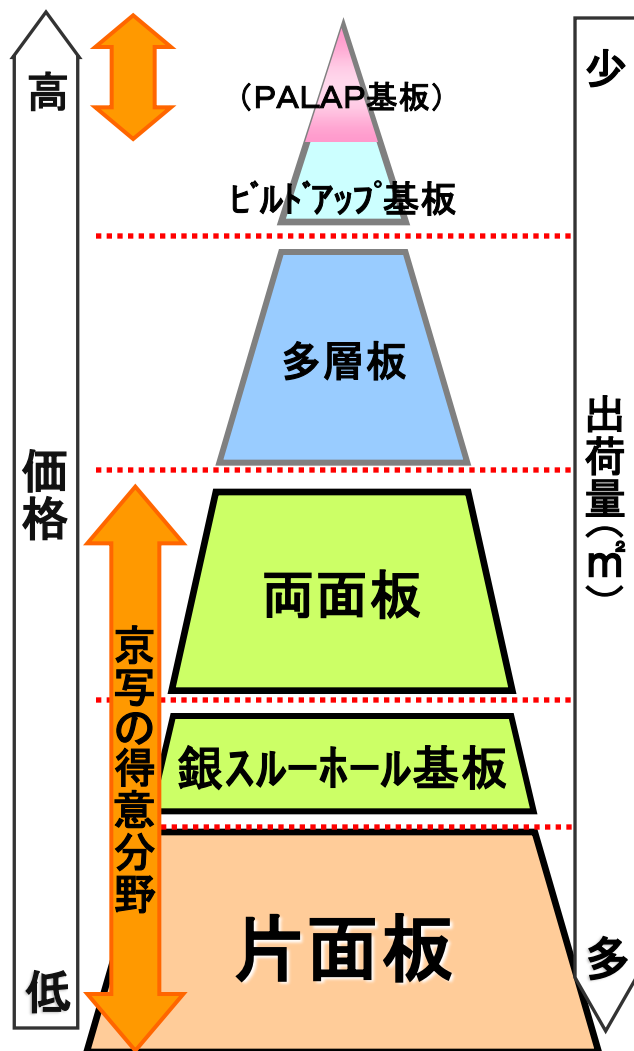
■ 社 名	株式会社 京 写
■ 代表者	代表取締役社長 児 嶋 一 登
■ 所在地	京都府久世郡久御山町森村東300
■ 設 立	1959年(昭和34年)2月
■ 上 場	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード:6837)
■ 資本金	1,102百万円 (発行済株式数 14,624,000株)
■ 事業内容	プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
■ 主要製品	片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板 PALAP(次世代多層基板)、電子部品実装、実装搬送治具
■ 従業員数	連結 1,458名
■ 主要取引先	自動車関連、家電製品、事務機、映像関連、アミューズメント その他(電子部品、音響機器等)
■ 決算日	3月31日
■ 関係会社	連結子会社数 8社(2015年 9月30日現在)

プリント配線板の種類と主な用途

プリント配線板の種類

説明

主な用途



ビルドアップ基板は多層板の一種ですが、配線を微細化した高密度多層プリント配線板です(PALAP基板は最先端の多層プリント配線板です)

両面にだけでなく内部にも導体パターンを構成するプリント配線板です

両面に導体パターンを構成するプリント配線板です(銅メッキにより両面を導通させています)

両面板の一種です(銀ペーストで両面を導通させています)

片面のみに導体パターンを構成するプリント配線板です

◆半導体

◆通信機器(スマートフォン等)

◆精密機器(デジタルカメラ)

◆パソコン

(ハードディスク、ネットワーク機器などの各種コンピュータ周辺機器)

◆自動車

◆アミューズメント機器(パチンコ・ゲーム機)

◆自動車(カーオーディオ)

◆事務機(OA端末)

◆事務機(複写機、プリンター等)

◆家電製品

(LED照明機器・エアコン・テレビ・DVD・洗濯機・冷蔵庫等)

プリント配線板が使用されている主な製品

◆電気を使用する製品にはすべてプリント配線板が使用されています。

製品イメージ



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。

1. グローバル生産拠点から世界中へ製品を供給

日本、中国、インドネシアで生産、世界中へ販売...

2. 片面板で世界最大の生産能力

片面板45万m²/月

3. 幅広い製品用途と顧客層

自動車、家電、事務機、映像、アミューズメント、産業機器等

口座数 約1,300(国内1,000口座、海外300口座)

4. プリント配線板関連技術の開発

環境対応製品・実装搬送治具の開発と展開

京写グループマップ

中国グループ

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写香港	100.00%	連結	12月
京写広州	95.00%	連結	12月
京写広州貿易	100.00%	連結	12月

国内グループ

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京 写	—	—	3月
三和電子	100.00%	連結	1月



東南アジア

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写インドネシア	95.54%	連結	3月
京写タイランド	99.99%	連結	12月
京写マレーシア	100.0%	連結	12月

北米

名 称	株式所有割合	種類	決算期
京写ノースアメリカ	100.00%	連結	12月

連結子会社数 8社(2015年9月30日現在)

◆片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	220,000m ²
インドネシア工場	150,000m ²
合計	450,000m ²

◆両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国生産提携工場(両面・多層)	120,000m ²
中国工場(銀スルーホール)	40,000m ²
合計	190,000m ²

片面プリント配線板世界最大の生産量
月産、東京ドーム建築面積約10個分
年間115個分の面積に相当

東京ドーム
面積
46,755m²



Kyosha ECOMAP

(ECOMAP = ECOLOGY MANAGEMENT
PRINTED WIRING BOARD)

Dust Less = **Kyosha-MAX[®]** 防塵対策基板

破断面からの粉落ち削減、粉レス基板

Heat Less = **Kyosha-Nacora[®]** 熱伝導放熱基板

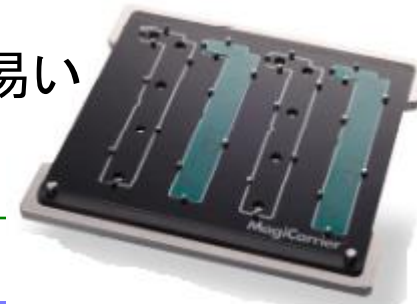
独自開発の熱伝導インクと回路設計で高熱伝導を実現

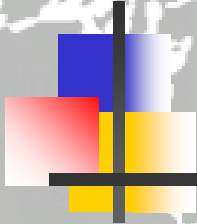
Space Less = **Kyosha Fine Technology**

ファイン回路片面基板 ファイン回路を印刷法で実現
(ライン/スペース=100/100ミクロン)

実装搬送用治具 = **MagiCarrier[®]** 次世代搬送キャリア

約1千回繰り返し使用可能、粘着力変わらず使用後はがし易い





Ⅱ. 2016年3月期 第2四半期 決算概要

2016年3月期 第2四半期業績サマリー



■海外工場稼働率低下、円安による仕入調達コスト増加で減益

(単位:百万円)

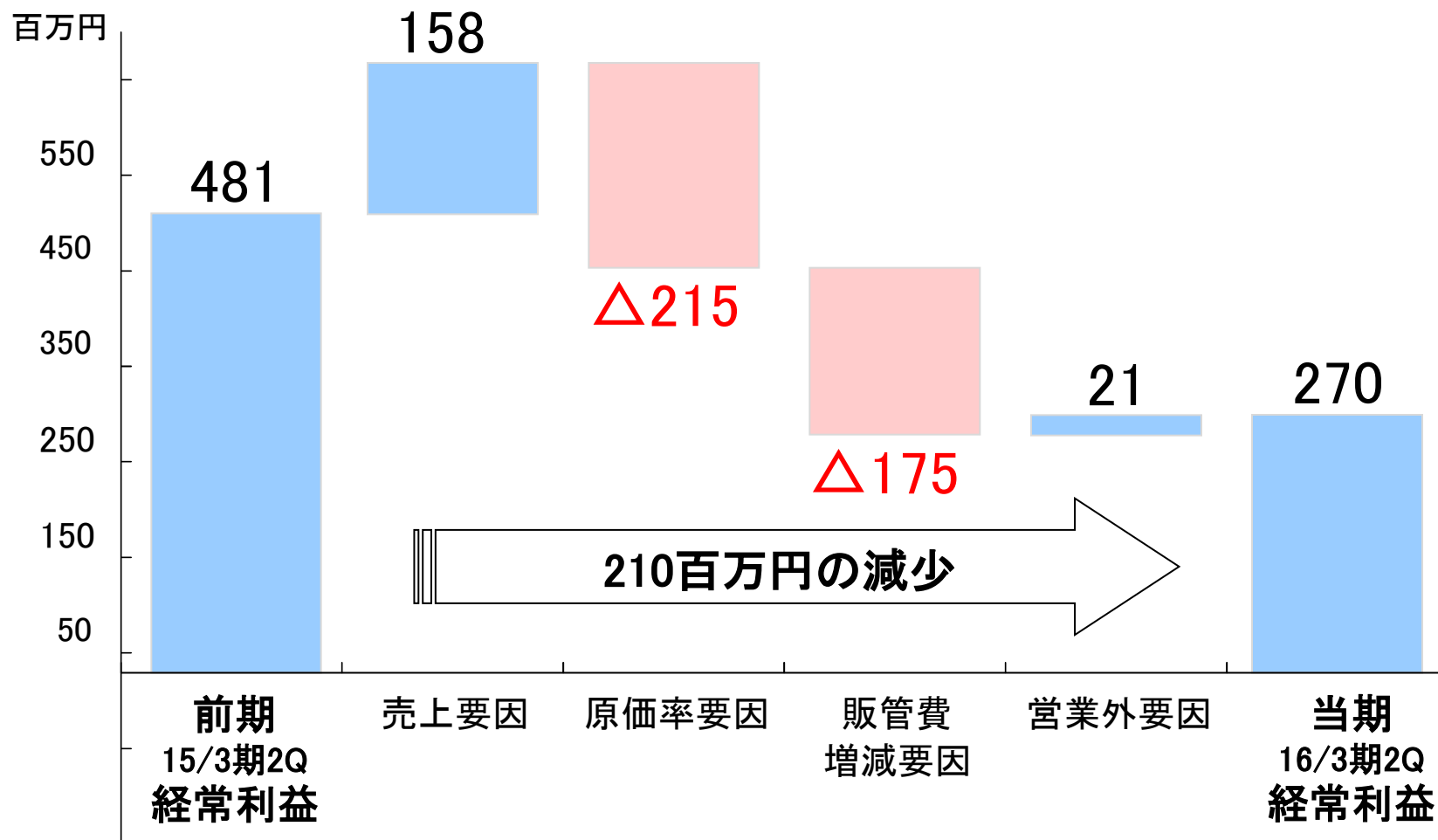
連結	前期実績 (2015年3月期2Q)	当期実績 (2016年3月期2Q)	増減額	前期比
売上高	8,606	9,378	772	109.0%
営業利益	486	254	△232	52.4%
経常利益	481	270	△210	56.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	360	221	△138	61.5%
営業利益率	5.7%	2.7%		

(単位:円)

為替レート(US\$)	103.04	121.80	18.76	
(HK\$)	13.21	15.51	2.30	

経常利益の増減前期比較

■ 片面板の受注減少や経費増加により減益



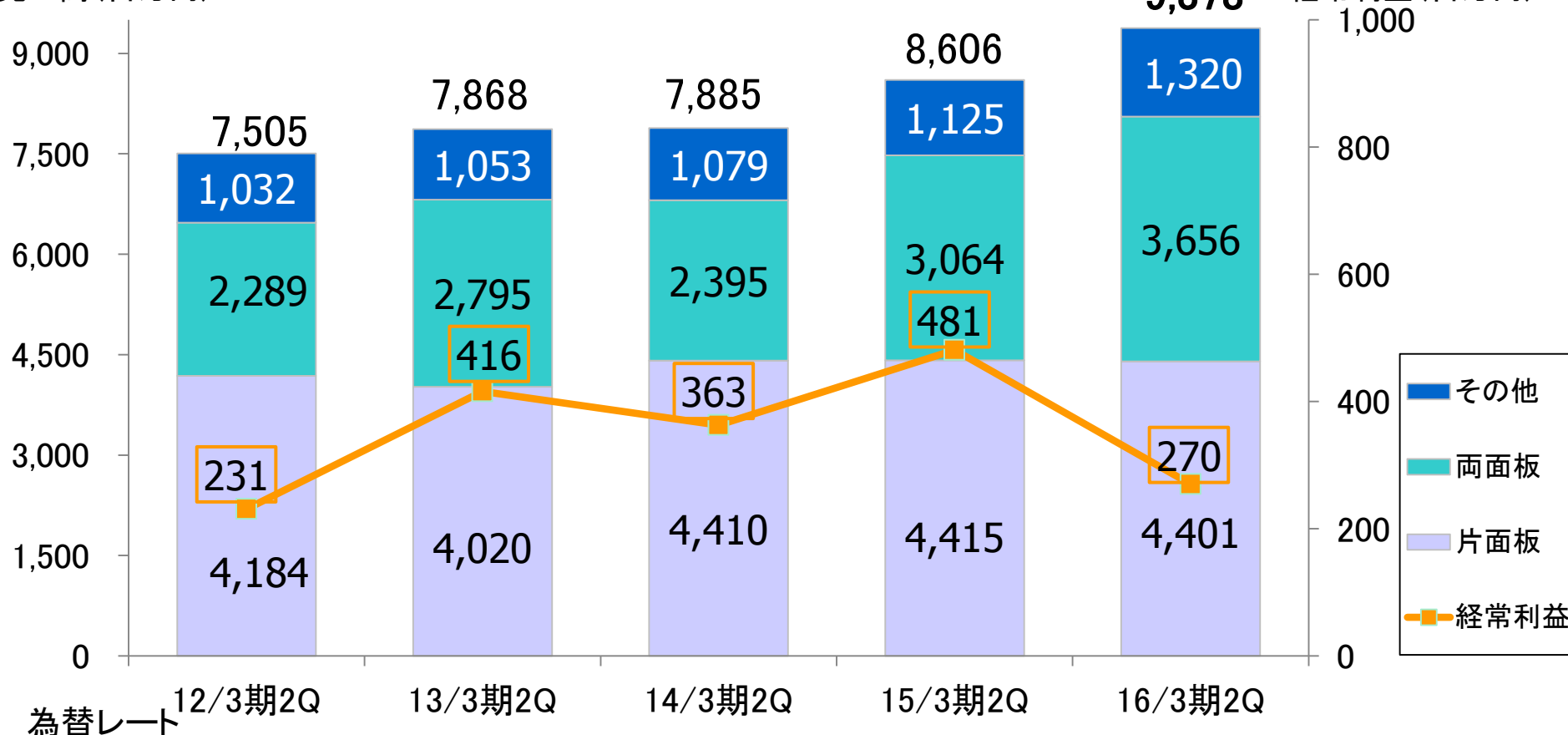
業績推移



■両面板・その他過去最高売上、片面板減少

売上高(百万円)

経常利益(百万円)



為替レート	2012年3月期2Q	2013年3月期2Q	2014年3月期2Q	2015年3月期2Q	2016年3月期2Q
US\$	79.82	79.41	98.85	103.04	121.80
HK\$	10.54	10.28	12.32	13.21	15.51

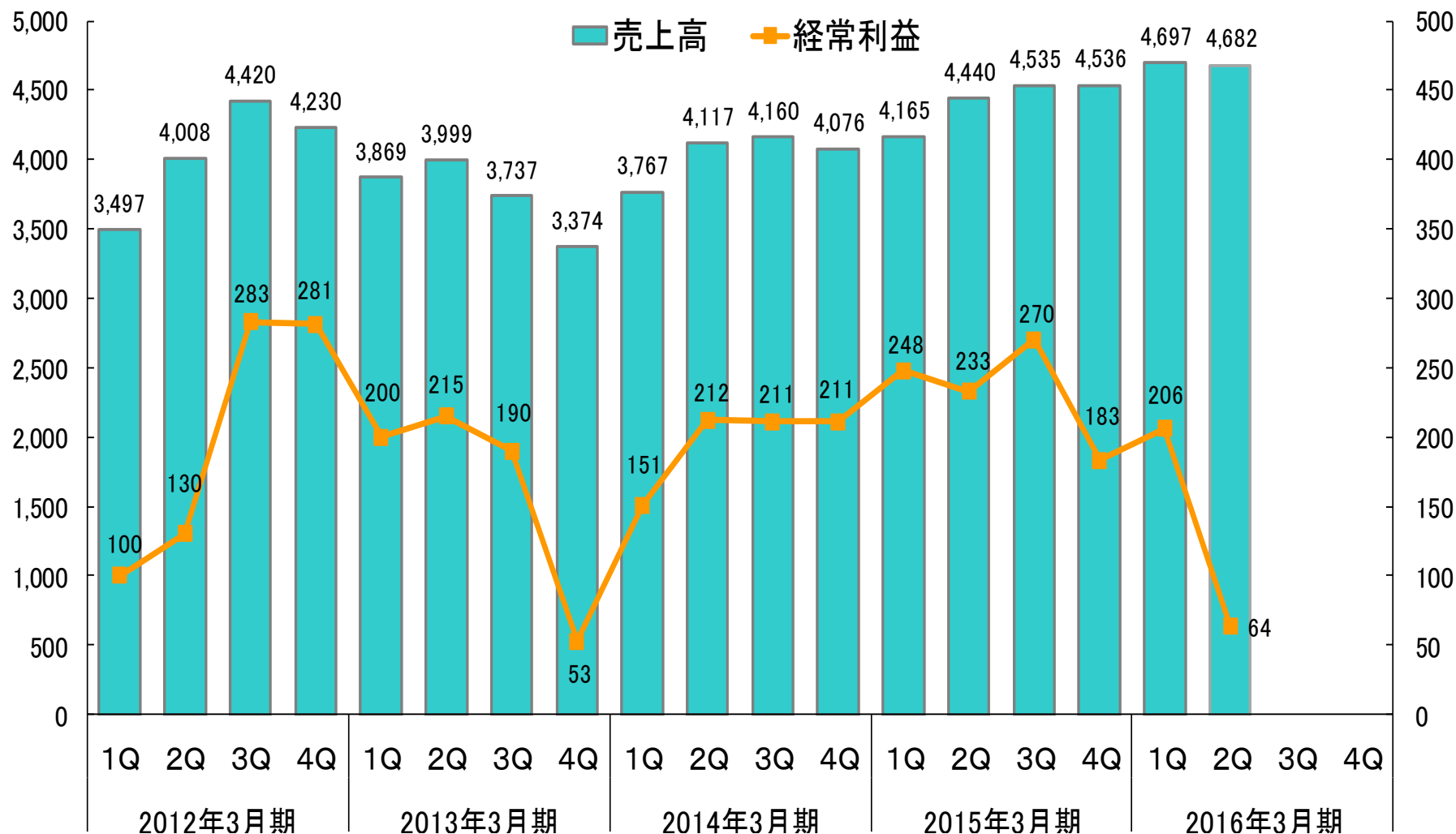
※両面板には一部、多層板と銀スルーホール基板を含んでいます。

四半期毎の業績推移

■1Q比四半期売上減、経常利益大幅減少

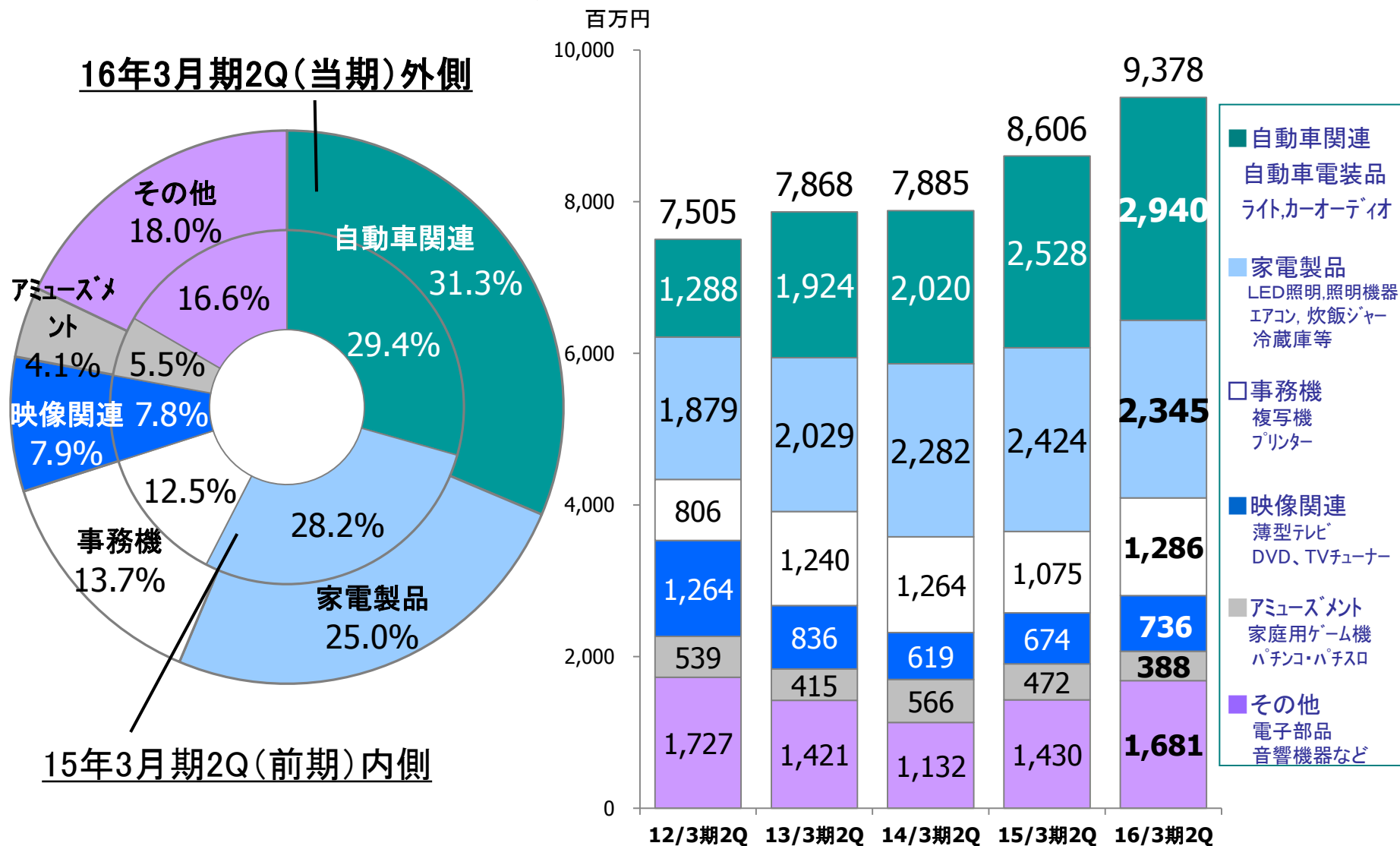
売上高(百万円)

経常利益(百万円)



用途別売上高

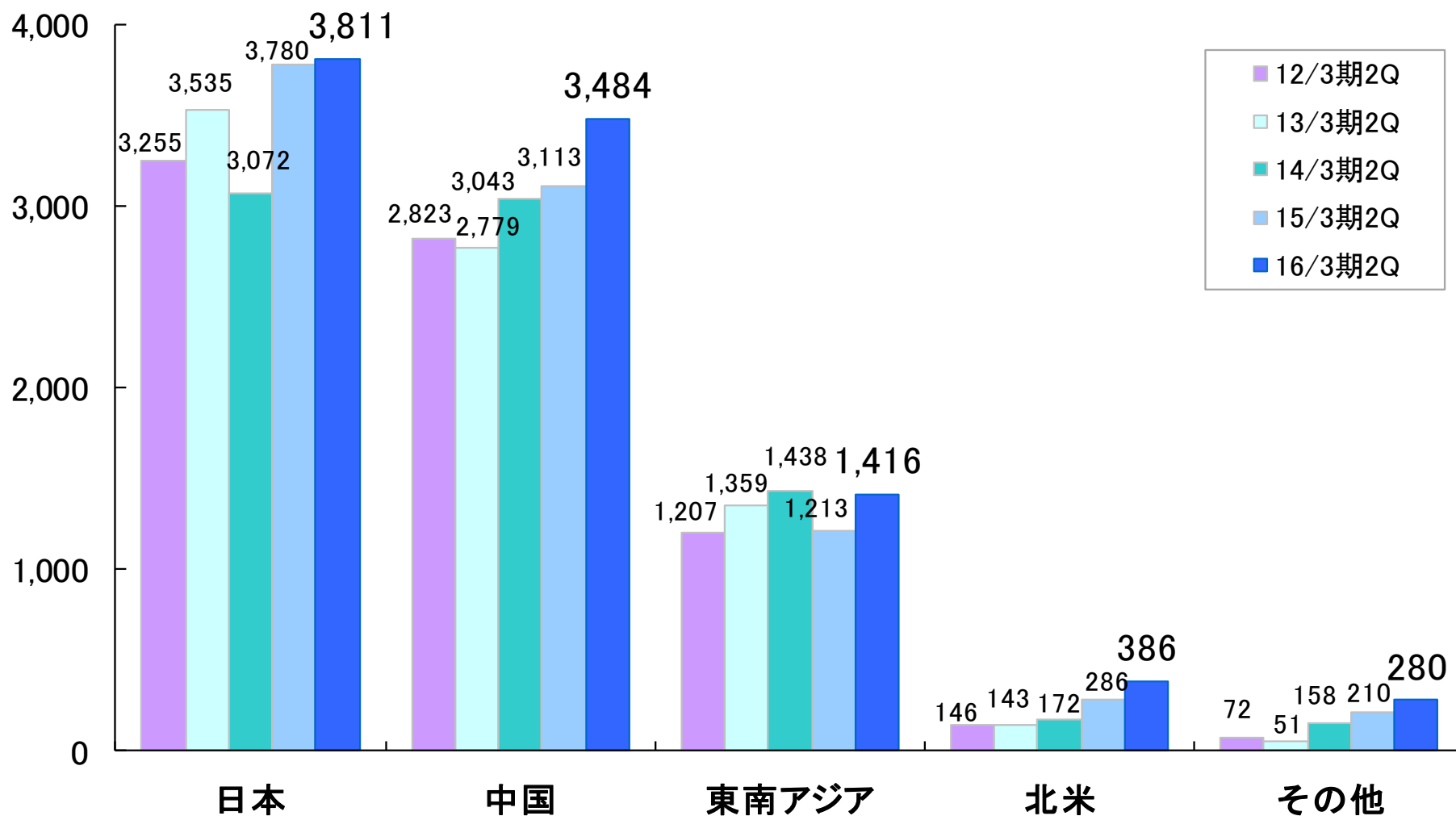
■ 自動車関連が牽引、実装関連事業好調により構成比増加



地域別売上高推移

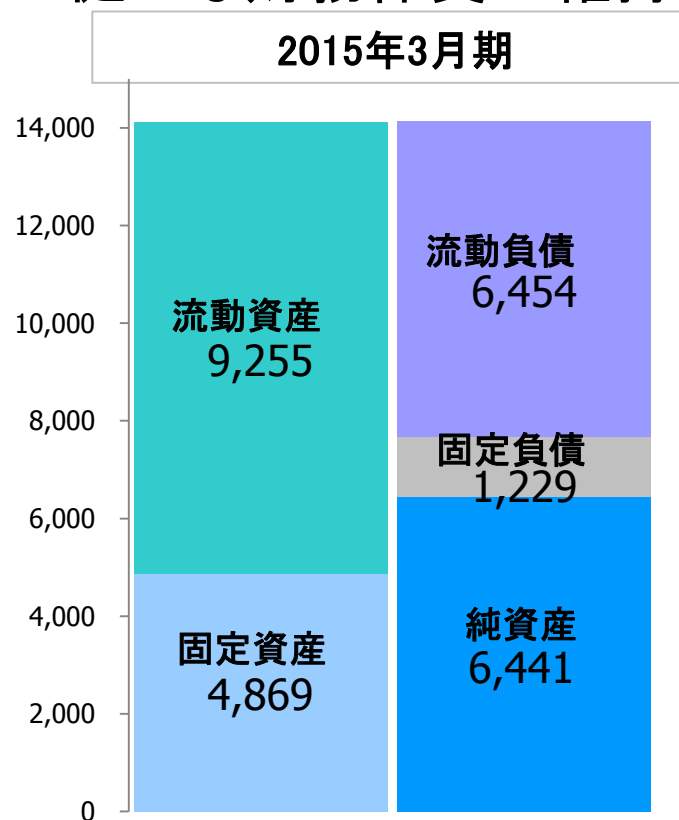
■ 全地域において売上高前期比増加

百万円



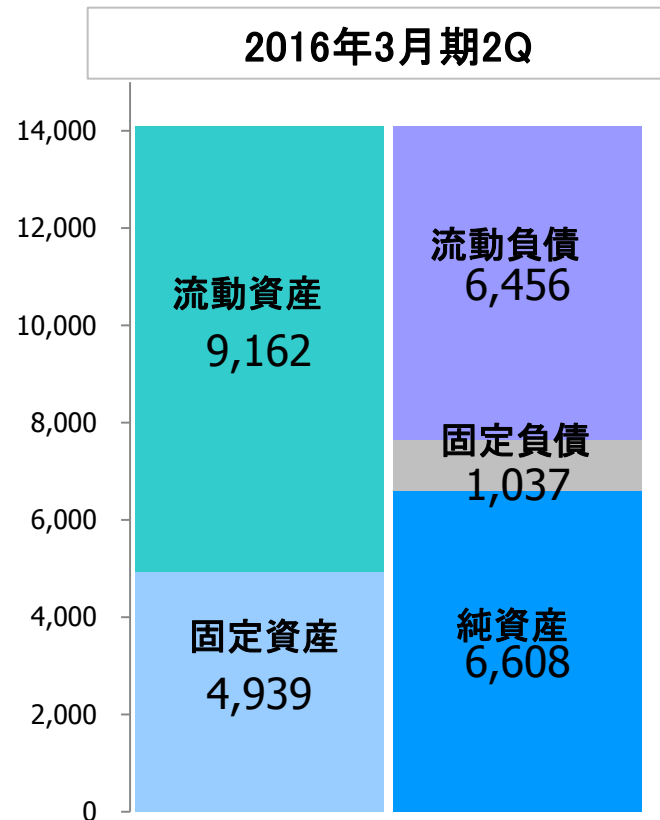
貸借対照表

■ 健全な財務体質の維持 (単位: 百万円)



総資産 14,124

経営指標	2015年3月期
流動比率	143.4%
有利子負債依存度	23.2%
自己資本比率	44.5%



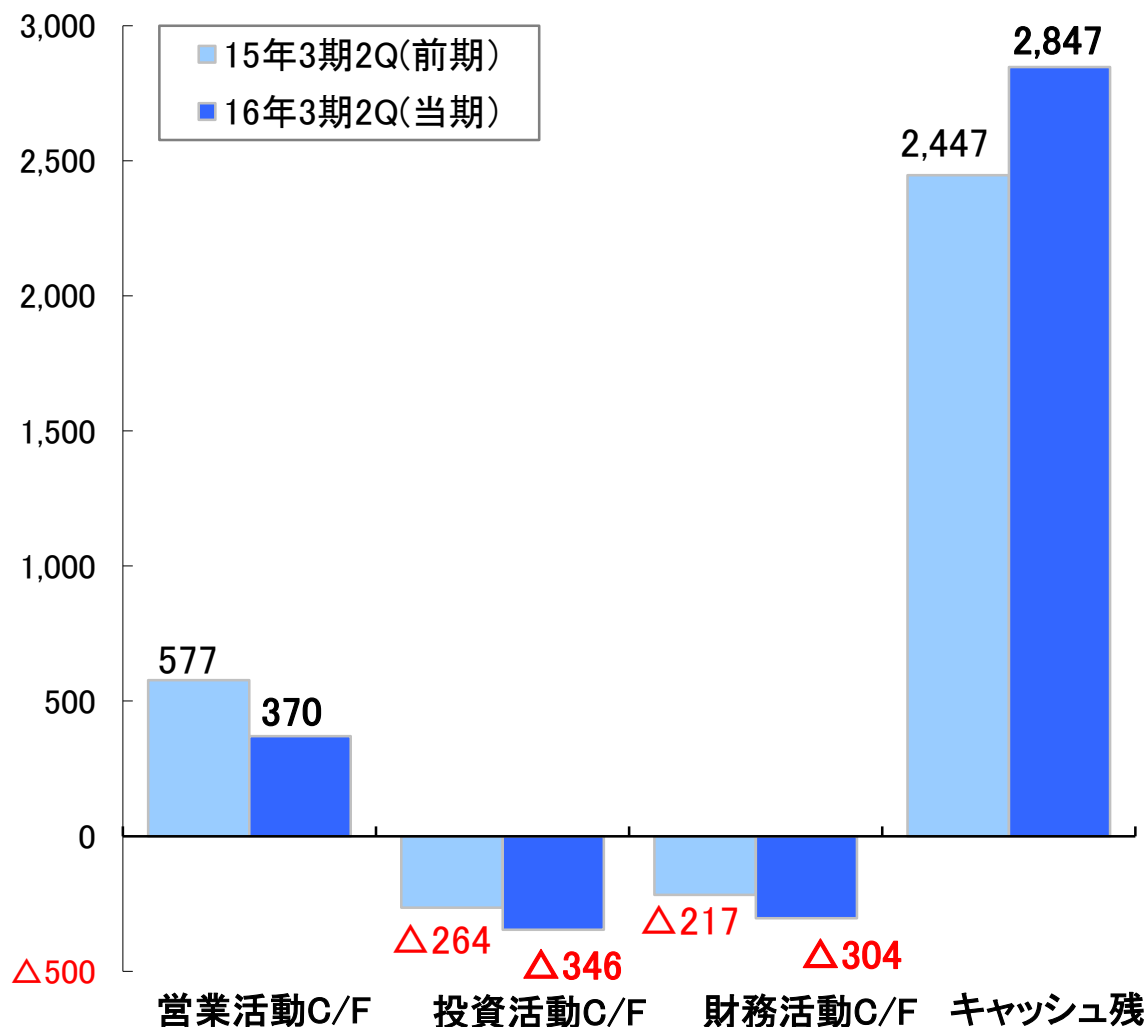
総資産 14,101

経営指標	2016年3月期2Q
流動比率	141.9%
有利子負債依存度	22.0%
自己資本比率	45.8%

キャッシュ・フロー計算書

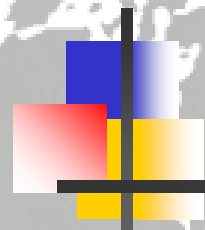
■ 営業活動C/F減少により期間C/F減（累計残は前中間比増）

百万円



<特記事項>

営業活動C/F	370百万円
税引前利益	304百万円
減価償却費	280百万円
仕入債務の増加	79百万円
たな卸資産の増加	△115百万円
売上債権の増加	△69百万円
投資活動C/F	△346百万円
有形固定資産の取得	△415百万円
国内:生産性向上投資	
海外:増産対応投資	
投資有価証券の売却	60百万円
財務活動C/F	△304百万円
短期借入金純増額	79百万円
長期借入金返済額	△280百万円
配当金の支払額	△99百万円



Ⅲ. 2016年3月期 業績予想

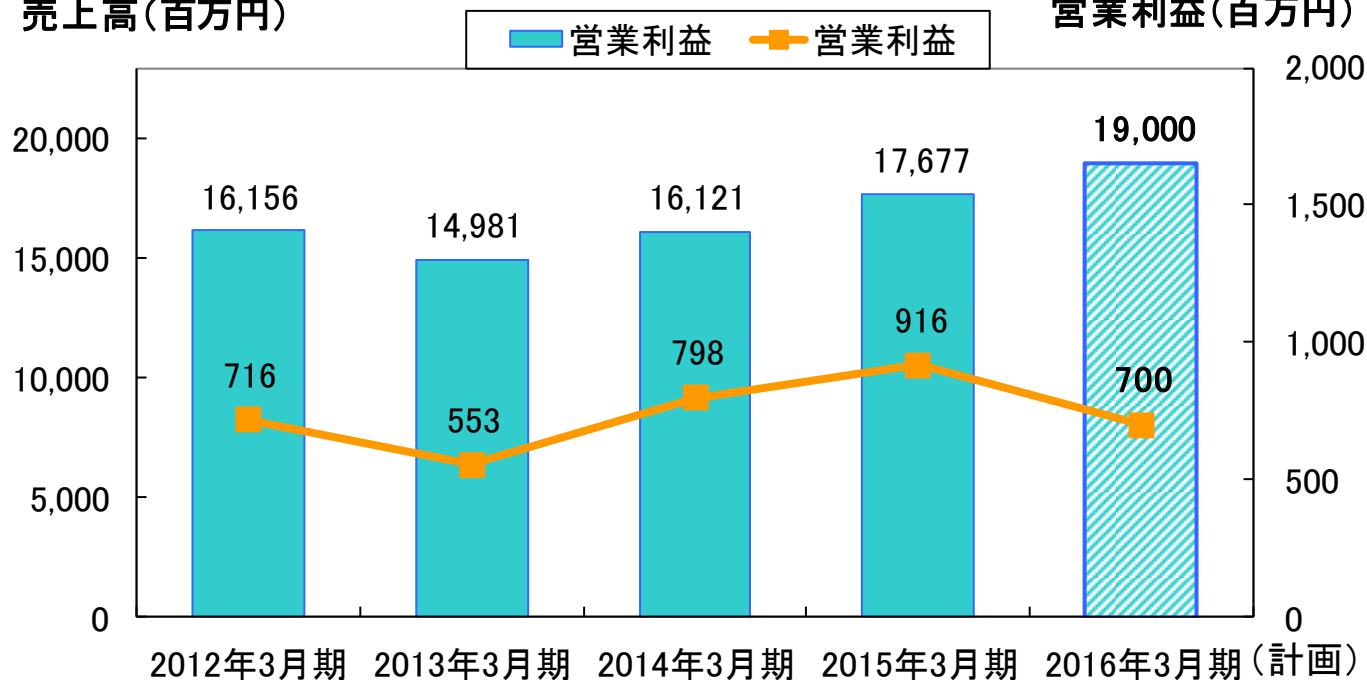
2016年3月期 通期業績予想

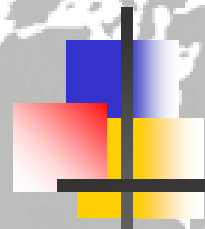
(単位: 百万円)

連結	業績予想 (2016年3月期)			当初4/30 通期予想	(参考) 前期上期実績
	通期(9/30修正)	前期比	上期実績		
売上高	19,000	107.5%	9,378	20,000	8,606
営業利益	700	76.4%	254	1,200	486
経常利益	700	74.9%	270	1,170	481
当期利益	580	84.6%	221	900	360
営業利益率	3.7%	—	2.7%	6.0%	5.7%

売上高(百万円)

営業利益(百万円)





IV. 中期経営計画について

(2014年3月期～2016年3月期計画)

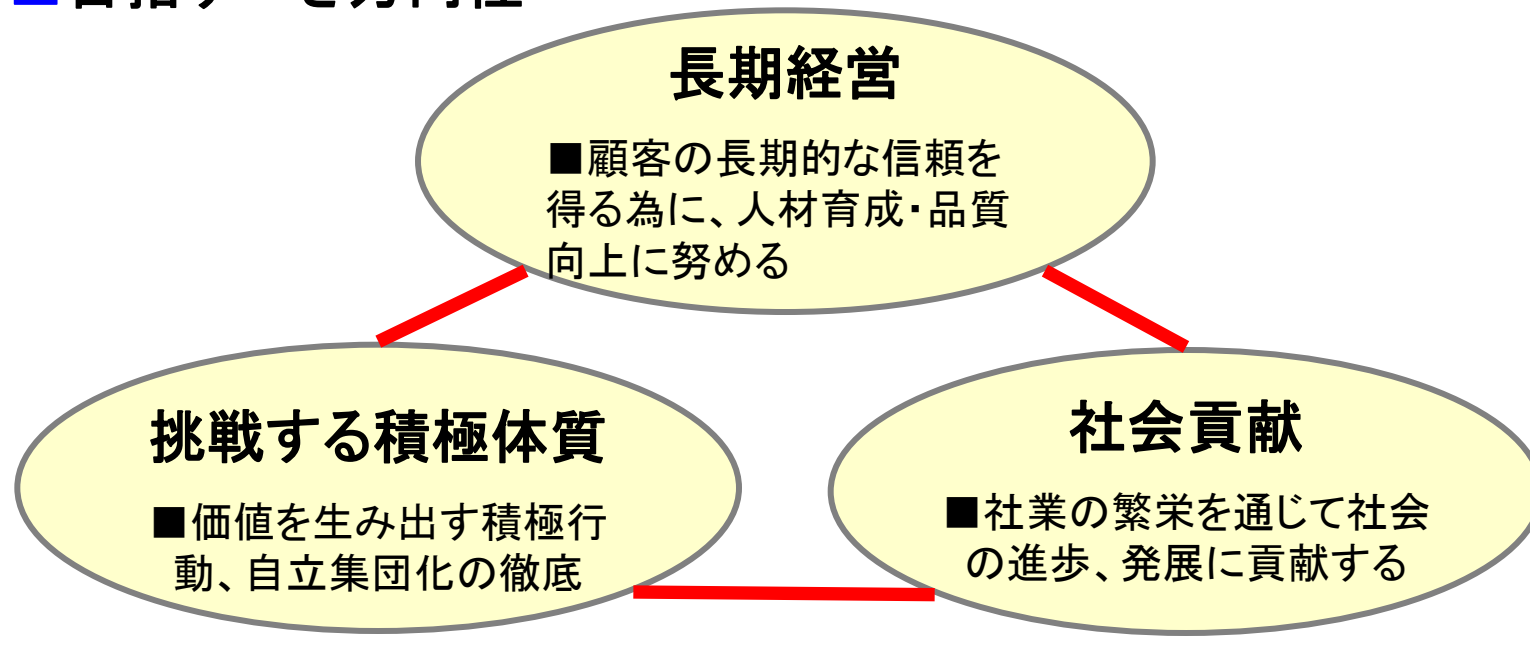
■ 将来ビジョン

「社員が誇れる挑戦企業になる」

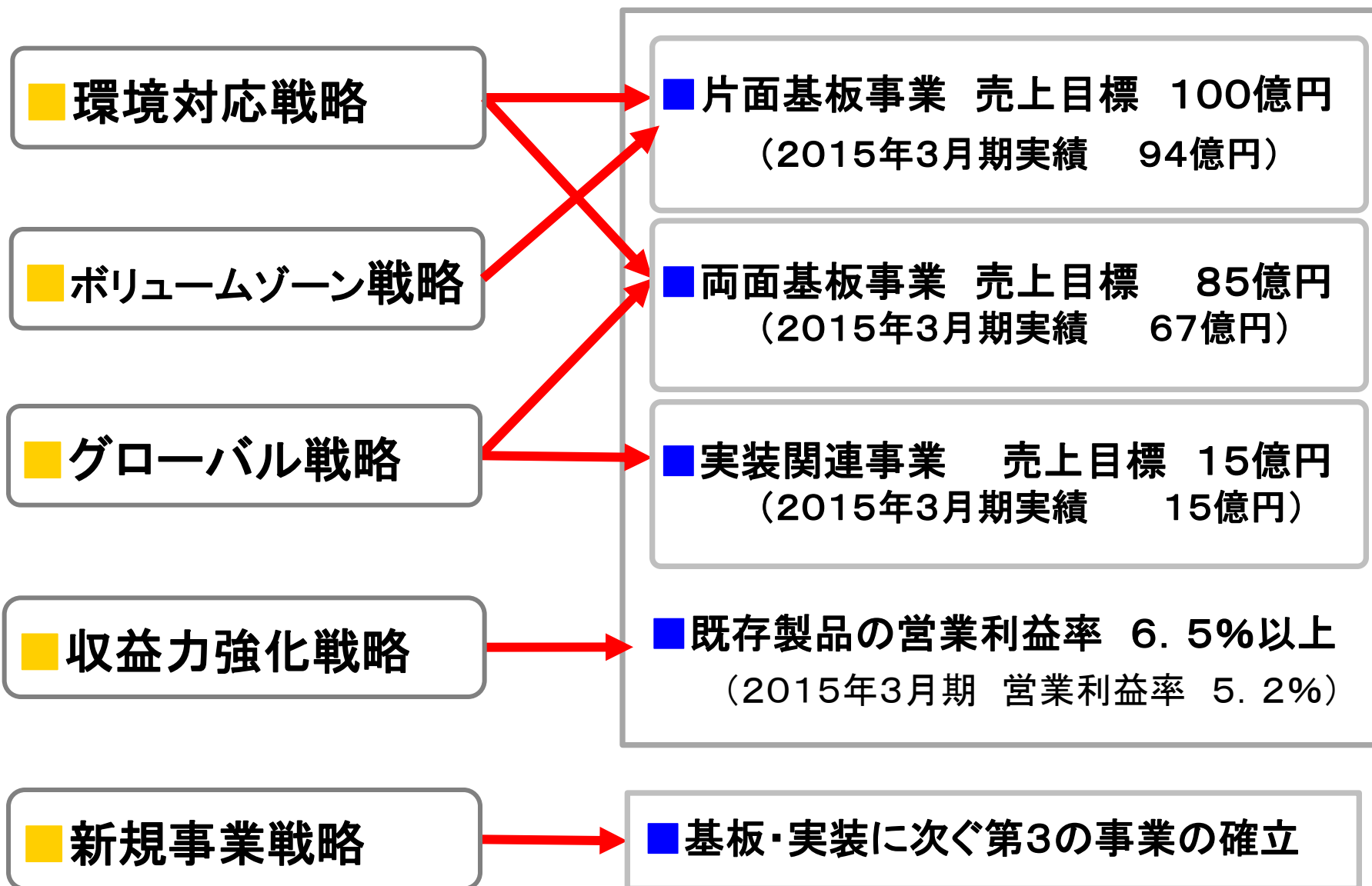
■ 基本戦略

「環境対応の技術開発に取り組み、
ボリュームゾーン商品で世界No. 1の企業になる」

■ 目指すべき方向性



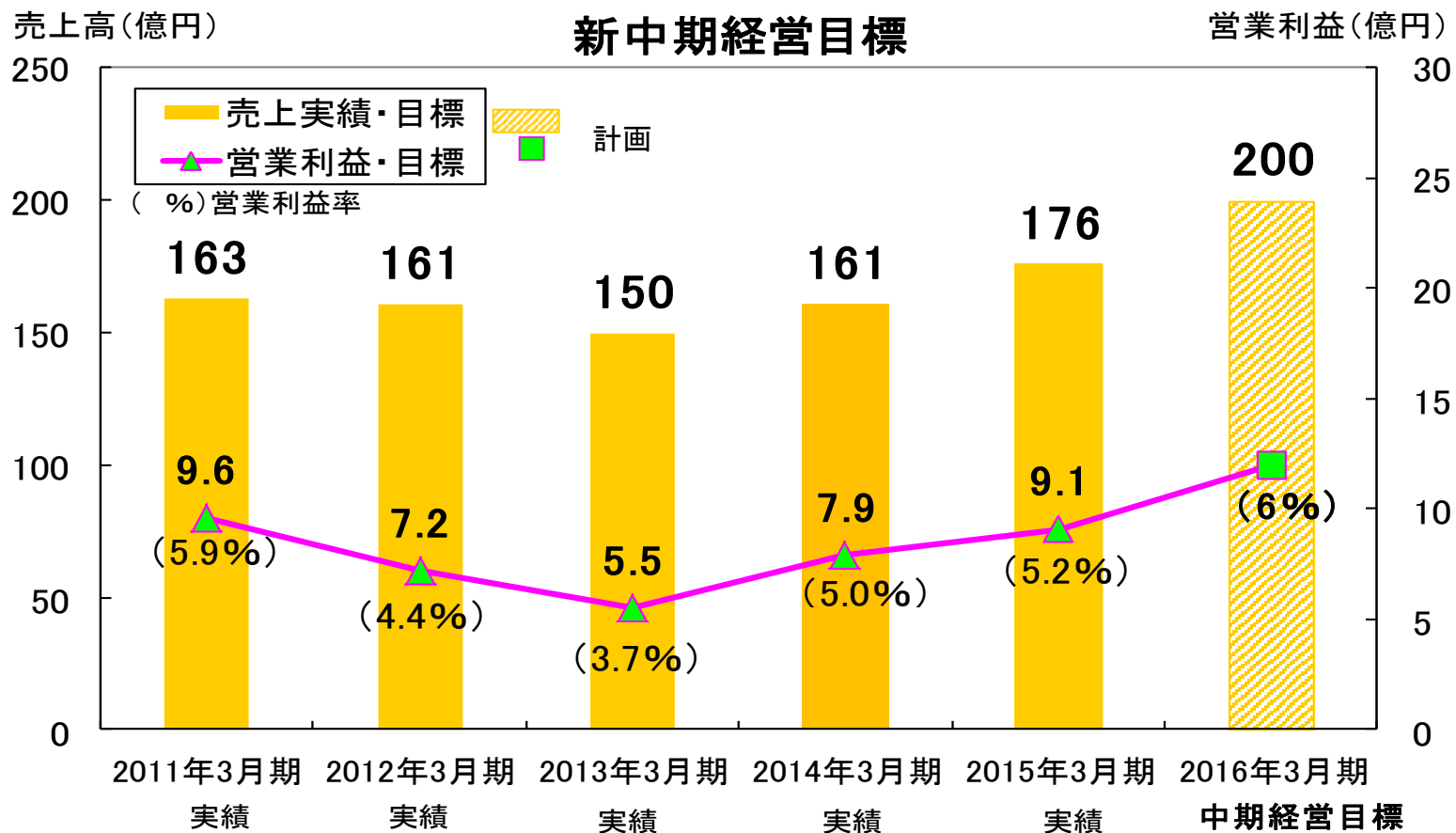
成長への5つの重点戦略



2016年3月期 中期経営目標

業績目標

売上高	200億円
営業利益率	6%
ROA(総資産利益率)	6%以上



(参考) 株価と1株利益の10年推移

KYOSHA CO.,LTD.

2015/11/19



(C) 2015 Yahoo Japan Corporation.

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp>

出所: Yahoo! ファイナンス

1株当たり当期純利益 (円)

06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期
△ 19.82	13.73	31.45	12.11	24.47	37.28	42.86	22.08	36.25	47.82

この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。